



令和7年5月8日

各 位

会社名 三重交通グループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹谷 賢一
(コード番号：3232 東証プライム、名証プレミア)
問合せ先 執行役員企画室部長 長井 康明
(TEL 059-213-0357)

中期経営計画の一部目標数値の見直しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、令和5年5月10日に公表いたしました「三重交通グループ中期経営計画（2023-2026）」の一部目標数値について、下記のとおり見直しを行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 目標数値の見直しの背景と今後の方向性

当社は、令和5年5月10日に令和8（2026）年度を最終年度とする「三重交通グループ中期経営計画（2023-2026）」（以下、本計画という）を発表し、目標達成に向け取り組んでまいりました。

本計画の前半では、成長ドライバーである不動産セグメントにおいては計画的な投資により着実に収益基盤を拡充し収益力の向上につなげました。また、アフターコロナにおいて運輸や流通、レジャー・サービスセグメント各社の回復も順調に進んでおり、その中でもビジネスホテル事業では、レジャー需要の回復と好調なインバウンドを背景として計画を大幅に上振れる業績で推移したことなどもあり、本計画の2年目となる令和6（2024）年度の実績は、想定を大きく上回る水準となりました。

つきましては、今後の事業環境の見通し及び足元の業績動向を踏まえ、本計画の最終となる令和8（2026）年度の一部目標数値を変更することといたしました。なお、経営目標以外の経営方針や施策等については、本計画に記載の内容から変更はございません。

2. 見直しの内容

令和8（2026）年度 経営目標（三重交通グループ中期経営計画（2023-2026）の最終年度）

	当初計画	修正計画	【ご参考】直近実績 (令和6年度)
営業利益	85 億円	88 億円	84 億円
親会社株主に 帰属する当期純利益	55 億円	59 億円	60 億円

※ 詳細については、参考資料「中期経営計画の一部目標数値の見直しについて」をご参照ください。また、本計画の詳細につきましては、当社ウェブサイトに掲載しておりますので、あわせてご参照ください。

当社ウェブサイト：<https://holdings.sanco.co.jp/>

以 上

【参考資料】

中期経営計画の 一部目標数値の見直しについて

令和7年5月8日

三重交通グループホールディングス株式会社

■中期経営計画(2023－2026)前半の進捗状況

- ・営業収益については、ビジネスホテル事業においてコロナ後の回復が想定以上のペースで推移していることなどにより、コロナ前とほぼ同水準に
- ・営業利益・純利益については、ビジネスホテル事業における販売単価の上昇に加え、投資の後ずれ等による減価償却費の減や各社における運営見直しによる生産性の向上、燃料関係における国の補助政策が継続したことなどで各種費用が減少し、大幅に利益が増加

コロナ直前期との比較

(単位：百万円)

	2019年度 (コロナ直前期)	2024年度 (実績)	差異
営業収益	103,926	103,851	▲ 75
営業利益	5,918	8,415	2,497
親会社株主に帰属する当期純利益	3,760	6,058	2,298

(参考) 減価償却費	6,161	5,106	▲ 1,055
------------	-------	-------	---------

中期計画の前半2年間は、当初想定に比べ、ビジネスホテル事業の好調な推移と費用の減少による影響が大きく、大幅に利益が増加

■中期経営計画(2023ー2026)後半の見通し

- ・営業収益は、成長ドライバーである不動産セグメントを中心に収益を拡充しつつ、各セグメントで需要を着実に取り込むことで、計画通り増加
- ・営業利益及び当期純利益は、前期までの実績、今後の事業環境の見通し及び足元の業績動向を踏まえ、現行の目標数値からそれぞれ増額
- ・営業利益は、従業員の待遇改善に伴う人件費増やビジネスホテル等の新規開業費用等を見込むものの、利益率の向上を図ることにより緩やかに増加、当期純利益は、金利の上昇も見込みおおむね当期に近い水準で推移すると予想
- ・引き続き、さらなる収益増・利益増を目指し、成長投資の積極的な実行や収益基盤の強化に取り組んでいく

		2023年度 (実績)	2024年度 (実績)	2025年度 (予想)	中期計画 目標	→ 中期計画 目標(変更後) 110,000 8,800 5,900 35%程度 6倍以下 9.0%程度
成長性	営業収益	98,218	103,849	107,000	110,000	
	営業利益	7,368	8,415	8,700	8,500	
	親会社株主に帰属する当期純利益	4,750	6,058	5,900	5,500	
健全性	自己資本比率	32.5%	34.6%		35%程度	
	有利子負債／EBITDA倍率	5.8倍	5.4倍		6倍以下	
効率性	ROE（自己資本当期純利益率）	8.5%	9.9%		9.0%程度	

単位：百万円